



◎道路功績者の表彰

本會道路功績者表彰規程により左の通り表彰、静岡縣知事宛傳達方を依頼した。

表彰 九月二十六日

表彰狀

静岡縣駿東郡靜浦村道路愛護會

同

同縣磐田郡浦川町警防團道路愛護會

同

同縣庵原郡由比町道路愛護會

同

同縣賀茂郡城東村道路愛護會

表彰狀

單杯

同縣磐田郡浦川町浦川一二五〇

田 高 英 作

同

同

同縣磐田郡熊村熊一六八七

同 同

同縣磐田郡浦川町浦川一二三九

佐藤 角 造

表彰狀、一等功績章、三つ組木杯

同 同

同 静岡縣道路工夫

佐藤 源 作

同 同

同 同

今村 國 太郎

同 同

同 同

望月 佐右衛門

同 同

同 同

奥宮 利 八

同 同

同 同

大野 嘉 平

同 同

同 同

太田 新治郎

同 同

同 同

太田 正 雄

同 同

同 同

白柳 數 惠

◎評議員及理事監事選任

去る七月十七日開會の二十一回定時會員總會に於て評議員の選任、同日開會の評議員會に於て理事監事選任方水野會長に一任せられたる處左記之通決定せられた。

高橋 新太郎

評議員

池田成彬
 飯沼一省
 長谷川久一
 橋本圭三郎
 八田嘉明
 丹羽鋤彦
 西野元
 堀切善次郎
 堀越角次郎
 土岐嘉平
 大橋新太郎
 岡崎久次郎
 岡田文秀
 岡野昇
 大日喜六
 和田龜治
 川崎八右衛門

門野重九郎
 金杉英五郎
 各務幸一郎
 河田烈
 寬正太郎
 勝田銀次郎
 唐澤俊樹
 田中廣太郎
 谷口三郎
 辰馬鎌藏
 相馬半治
 津村重舍
 次田大三郎
 內藤久寬
 中川正左
 長岡隆一郎
 直木倫太郎

中川 吉造
 中野 金次郎
 成田 一郎
 長崎 惣之助
 村井 二郎吉
 潮 惠之輔
 牛塚 虎太郎
 山下 龜三郎
 山田 英太郎
 矢野 恒太
 増田 義一
 松岡 均平
 牧 彦七
 松本 學
 前川 貫一
 牧野 雅樂之丞
 松本 健次郎

日本鋪道株式會社社長

郷 誠之助
 小山 谷藏
 香坂 昌康
 赤星 隆治
 青木 周三
 明石 照男
 淺野 總一郎
 青山 士
 赤松 小寅
 淺利 三郎
 佐上 信一
 佐藤 利恭
 眞田 秀吉
 結城 豐太郎
 湯澤 三千男
 水野 鍊太郎
 三邊 長治

理事

三浦七郎
白石元治郎
篠原英太郎
柴田善三郎
土方久徵
廣瀬久忠
物部長穗
森村市左衛門
末松借一郎
宮崎通之助
水野鍊太郎
橋本圭三郎
山田英太郎
箕正太郎
辰馬鎌藏
谷口三郎
中川正左

備考

任期中の評議員及理事左の如し。

監事

長岡隆一郎
中川吉造
岡田文秀
長崎惣之助
牧彦七
赤松小寅
佐上信一
佐藤利恭
青山士
廣瀬久忠
西野元

評議員

長谷川勝伍
大石義朗
坂本一平
山崎巖
挾間茂

評議員及理事

田 中 好

元東京帝國大學教授 蠟山政道氏

藤井眞透

東京市政調査會研究員兼參事 弓家七郎氏

金子源一郎

第二議題

理事 成田一郎

法制局 參事 官入江俊郎氏

◎第七回全國都市問題會議總會

六 議事方法 兩議題に關する主報告者の報告に次で、

本年十月三日より三日間開催の第七回全國都市問題會議

部門を各議題關係に分ち參加會員の報告

總會の概要左の通り。

及び討議を行ふ。

一 開 催 期 昭和十五年十月三日(木)より三日間

七 日 程

二 開 催 地 東京(會場 日比谷公會堂・飛行講堂・

第一日(十月三日)木

仁壽講堂)

午前 總會(開會式、議事、第一議題主報告)

三 議 題 第一議題 本邦都市發達の動向と其の諸

午後 總會(第二議題主報告)

問題

第二日(十月四日)金

第二議題 都市の人事行政

午前 部會(第一部會及び第二部會)

四 特別報告 時局に關する問題(報告者並題名未定)

午後 部會(午前に引續き第一部會及び第二部會)

五 主報告者 第一議題

第三日(十月五日)土

東京帝國大學教授文學博士 今井登志喜氏

午前 總會(特別報告、兩部會經過報告、議事、閉會式)

八 總會々費 参加者一人に付き金拾圓とし、参加申込

と同時に事務局へ納入のこと。

九 關係文書の頒布 参加者には研究報告、参考資料その

他を配布す。

十 参加申込方法

イ、正會員の申込方法 正會員は豫め左記添付申込書を

以てその職氏名を通告し、同時に總會々費を納入せ

られたし、官公廳その他諸團體が正會員たる場合は

その通常會費口數までの人員を参加せしむるの外、

更に臨時會員を出席せしめ得ること會議規約第五條

第二項所定の如し。

ロ、臨時會員の申込方法 正會員にあらずして今次の總

會にのみ参加せんとする向は臨時會員とし、前掲總

會々費の拂込と共に左記添付申込書を以て其の住所

職氏名を通告せられたし。臨時會員たるの資格は、

會議規約第五條第一項所定の通り、(一) 官公署・公

共組合・學校・學會・協會其の他の公益諸團體(二)

都市經營に關係を有する事業者(三) 上記諸團體及

事業者並に地方公共團體の職員・議員及び委員(四)

都市問題に關係ある科學の研究者(五) 正會員の紹

介あるものとす。

ハ、申込宛先 東京市日比谷公園・東京市政調査會内・

全國都市問題會議事務局(振替貯金口座東京六〇〇八

二四番) (詳細質疑に應ず)

○内務省土木試驗所談話會

第二百八回技術談話會話題

昭一五・九・二七

午前八・五〇—一二・〇〇

午後一・三〇—四・〇〇

一、東亞各國の植民地ルートに就て(佛印、ビルマ、雷州、

蘭印、トルキスタン) (四〇分) 石原 囑 託

二、中空壓縮材の挫屈に關する理論的研究(三編)

(四五分) 横 田 技 師

三、稜片を用ひたる鋼短柱の強さ

(一時間三〇分) 安宅勝氏

休憩 (晝食)

四、南洋をみて (三〇分) 藤井技師

五、映畫「南進二千裡」全七卷 トーキョー

(一時間一〇分) 南洋興發會社製作提供

六、ドイツ「自動車國道」全三卷 トーキョー

(三〇分) 東和商會社提供

◎評議員渡邊勝三郎氏

元東京瓦斯會社社長、同渡邊同族重役渡邊勝三郎氏(麻布仲ノ町二〇)はかねて淋巴肉腫のため帝大病院吳内科で療養中二十日午前四時五十六分死去した。享年六十八。

◎中村榮次郎氏

梨園の大御所成駒屋中村歌右衛門丈はかねて鉛毒性脊髄炎を病み東京芝區高輪車町九の自邸で療養中病狀悪化し肺炎を併發し十二日午前三時五分逝去した。享年七十六。

◎近刊圖書雜誌 (寄贈交換)

○汎交通 (八、九月號)

○自警 (八、九月號)

○三田學會雜誌 (七、八月號)

○觀光 (八月號)

○乗合自動車 (七、八月號)

○紀元二千六百年 (特輯神武天皇聖蹟)

○建設 (第五卷六、七號)

○土木學會誌 (第二六卷八號)

○港灣 (第一八卷九號)

○セメント界彙報第三九號 (紀元二千六百年記念號)

○企畫 (第三卷五號)

○法律時報 (九月號)

○技術評論 (九月號)

○電氣通信學會雜誌 (第九〇二號)

○道路 (九月號)

(山本亨氏)自動車道路と工事機械)

○土木建設工事畫報(九月號)

○都市問題(第三一卷三號)

○警察協會雜誌(九月號)

○石油時代(八、九月號)

○土木工業(第二卷八號)

○大阪商工會議所月報(第三九九號)

○國立公園(七、八月號)

○都市公論(七、八月號特輯綠地問題)

○鐵道軌道經營資料(八、九月號)

○電氣通信學會雜誌(第八〇二號)

○觀光聯盟情報(第四卷七號)

○東大陸(九月號「特輯金と物價」)(十月號政治と科學)

○駿工(第一六卷七號)

○清和(第七卷八、九號)

○新民(八月府縣制發布五十周年記念座談會記事)

○水利と土木(八、九月號)

雜報

○(內務省)土木試驗所報告(第五五號)

○(東京市)土木試驗所報告(昭和十二年度乃至同十四年

度)

ハトウ

葉鶏頭や物干す妻に雞追る
夏去つて丹澤の谷霧深し
桑畑の秋蠶に刈られ虹を架く
驟雨はれてとうもろこしの揺動く
生き死にの惱身に泌む曼珠沙華
古城趾井幾尺ぞ蓼の花
花若荷辻堂の扉閉さざる
山樹仰げば栗盗人の枝に在り
疲れ氣の木樹の陰や女郎花